

阿蘇家保だより

～ 令和7年・夏号 ～

熊本県 阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041

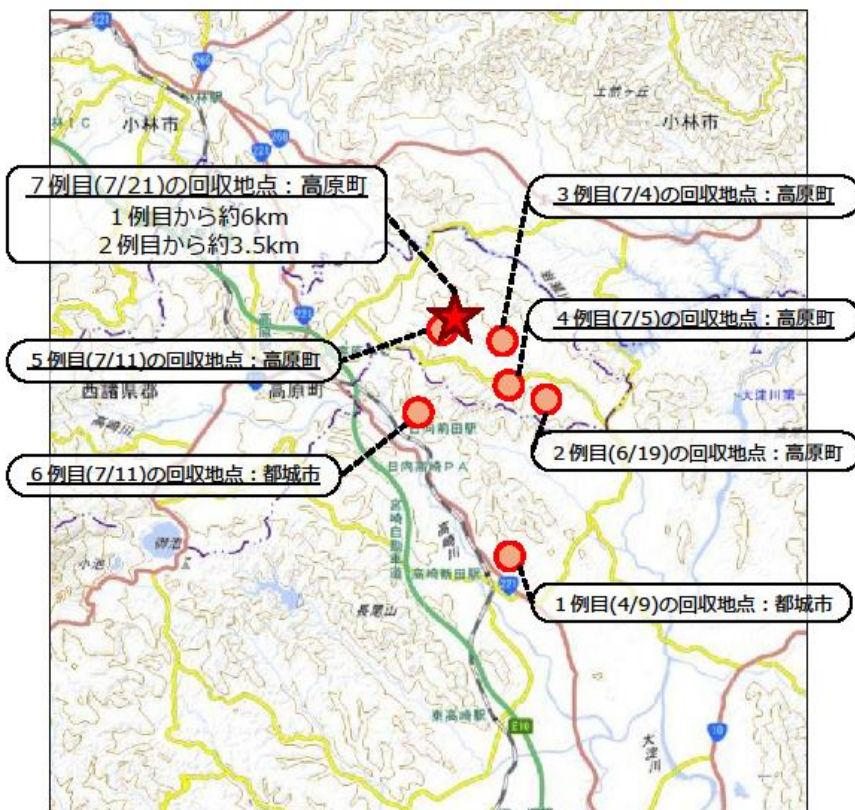
宮崎県の野生イノシシで豚熱の感染が拡大しています！

➤ 令和7年4月以降、宮崎県で合計7頭の野生イノシシにおいて豚熱の感染が確認されました。

➤ 2～7例目はいずれも1例目の感染が確認された場所から4～6kmほどの距離で確認されており、この一帯で野生イノシシに感染が拡大している恐れがあります。

➤ 佐賀県の野生イノシシ由来のウイルスと極めて近縁であり、熊本県や大分県で陽性個体が確認されていないことを踏まえると、宮崎県には何らかの人為的な要因でウイルスが持ち込まれた可能性が高いと推定されています。

都城市及び高原町内で回収された野生イノシシにおける豚熱ウイルスの確認について



※宮崎県HPより抜粋(7/23 現在)

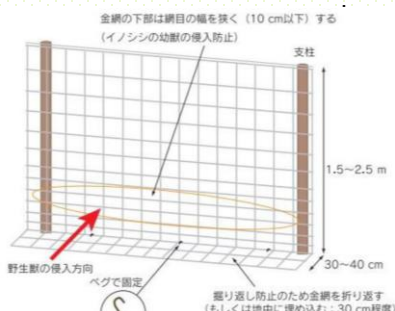
 豚熱ウイルスの侵入防止にご協力をお願いします。 

イノシシ侵入防止対策

- ✓ 忍び返し柵を設置する。
- ✓ 柵を地面に固定する。
- ✓ 金網を折り返す or 地中に埋め込む

豚舎へのウイルス持ち込みを防ぐために

- ✓ 豚を移動する際は絶対に敷地の地面を歩かせない。
- ✓ 移動で使用するフォークリフトの跳ね上げ泥が、豚にかからないようコンパネを設置する。



※JACCネットより抜粋

2024～25シーズンのHPAI疫学調査について

2024～25シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)は、過去20年間で最も早い発生となり、14道県51事例の発生が確認され、約932万羽が殺処分の対象となりました。

このシーズンのHPAIの特徴として以下のものが挙げられます。

特定の地域で連続して発生

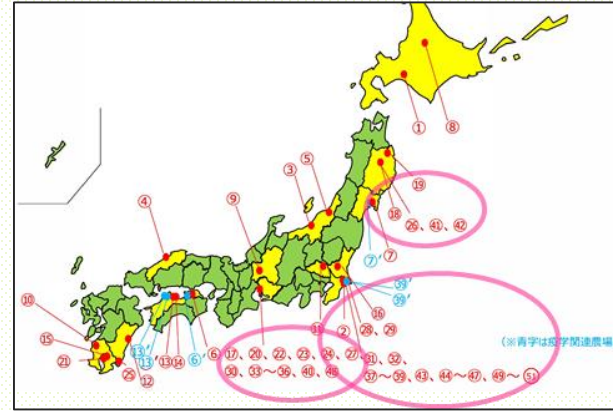
51事例中

千葉県：15事例

愛知県：13事例

岩手県：4事例

→全体の約63%が3県で発生



特に千葉県及び愛知県の続発事例の初発農場では、死亡羽数が急増したにもかかわらず、**誘導換羽の影響や前日の健康観察の際の数え残しと考えたため**、発見や通報が遅れました。

その結果**農場内でウイルスが相当量増大**しており、これが続発の原因の一つとなったと考えられました。

野生のカラスが感染経路になった可能性

上記と同様の千葉県及び愛知県の続発事例の初発農場では、堆肥舎において防鳥ネットを適切に使用しておらず、また破卵等を堆肥化处理していたことにより、カラス類等の野鳥を誘引していたことが確認されました。実際、このうち愛知県の事例では農場内の**カラスの死体からHPAIウイルスが検出**されています。

- カラス類は雑食性ですが、冬季には他の食物が少ないことから、主に死亡あるいは衰弱した鳥類や野生動物等を食物としていと考えられるため、**HPAIウイルスに感染する機会が多い**と考えられています。
- またカラス類は冬季に集団で行動する習性をもつため、群れの中で感染が継続する可能性もあります。現在のウイルスは**カラスで増殖しやすくなっている**可能性があるため、以前にも増してカラス対策の重要性が高まっています。



ハシブトガラス（肉食傾向が強い）



ハシボソガラス（雑食傾向が強い）

誘導換羽中であっても、少しでも普段と異なると感じたときは躊躇なく家畜保健衛生所へ連絡を！
堆肥舎の防鳥ネット設置等、カラスが集まらないように対策をしましょう。

豚熱の清浄化へ向けて、...

平成30年9月9日に26年ぶりに豚熱が発生して以降、令和7年5月までに24都県99例の発生が確認されていますが、発生予防対策やまん延防止対策により、飼養豚での発生数は年5件程度まで減少しています。

令和7年6月、我が国では豚熱の清浄化へ向け『**豚熱清浄化ロードマップ**』を策定し、当面の目標として**OIEの豚熱清浄国ステータス取得**を目指すことが公表されました。

フェーズ名

フェーズの概要

0期	現行のフェーズ。可能な限り早期のマーカーククチン※の実用化を目指す。
I期	現行ワクチン接種豚をマーカーククチン接種豚に置換。
II期(2035年頃)	感染抗体陽性豚をゼロにする。
III期(2045年頃)	清浄国ステータス取得要件に適合する。
IV期(2050年頃)	清浄国ステータス取得後のフェーズ。

(※マーカーククチン:ワクチン接種豚が野外病原体の感染豚か識別可能なワクチン。)

豚熱(CSF) 清浄国ステータスを取得するメリット

- ✓ 米国やEU等の新たな輸出先を開拓できる
- ✓ 非清浄国からの輸入解禁要請に対し優位な立場をとることができる
- ✓ ワクチン接種が不要な状態になることでコストの低減につながる
- ✓ ステータス取得及び維持に向けた取り組みはアフリカ豚熱の対策にも通じる

CSF 清浄国について

清浄国とは

- OIE(国際獣疫事務局)が、特定疾病(口蹄疫、BSE、CSF等)の清浄性に係る状況を、加盟国・地域の申請に応じ、専門家が評価した上で総会で採択し、当該国・地域の清浄ステータスを公式に認定。
- 清浄国のステータスを維持するためには、OIEコードに規定された清浄国の要件を継続的に満たす必要。
- 我が国のCSFに係るステータスは、**2007年4月から清浄国**であった(※)が、2018年9月の国内での発生を受け、一時停止(※最長2年)となり、**2020年9月3日に清浄国のステータスを消失**した。

※ CSFのステータスの公式認定は2015年から開始(それまでは自己清浄化宣言)。

清浄国の要件

- 過去12ヶ月間、飼養豚で**CSFの発生がない**
- 過去12ヶ月間、飼養豚への**ワクチン接種が行われていない**(マーカーククチンを除く。)
- 過去12ヶ月間、飼養豚で**サーベイランスが実施**されている
- 感染野生イノシシが国内にいる場合、**飼養豚と野生イノシシの群が適切な措置により分離**されている 等

暑熱対策をしましょう

暑熱ストレスは家畜の餌食いを悪化させるだけでなく、代謝などに必要なホルモン分泌を含めた生理機能に悪影響を与え、生産性や繁殖能力を低下させます。しっかりと暑熱対策を実施し家畜のストレスを軽減させましょう。

畜種	適温域（℃）	*上臨界温度（℃）
乳用牛	4-20	25
肉用牛	10-20	30
豚	5-20	27
採卵鶏	13-25	30-32
肉用鶏	19-23	28
*上臨界温度：家畜の体温調節が難しくなり、生産性が低下する温度		



～ 畜舎温度を下げるには ～

その①

 グリーンカーテンの設置



その②

 屋根への消石灰の塗布



その③

 換気扇などによる送風



※社団法人中央畜産会 暑熱対策リーフレット 及び 農林水産省HP より

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種（件数）	発生年月日
アフリカ豚熱（ASF）	—	韓国	野生いのしし（13）	3月30日～7月1日
高病原性 鳥インフルエンザ（HPAI）	H5N1 （H5亜型）	韓国	家さん（5）	4月19日～6月29日
	H5N1 （H5亜型）	日本	野鳥（1）	6月25日
	H5N2 （H5亜型）		野鳥（1）	4月19日

令和7年(2025年)7月8日現在

毎月20日は『くまもと家畜防疫の日』です。畜舎の定期的な清掃を！